



## 平成26年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年9月9日

上場会社名 株式会社ミサワ 上場取引所 東京証券取引所マザーズ  
 コード番号 3169 URL <http://www.unico-fan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 太 TEL (03) 5723-8500  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 裕之 配当支払開始予定日 -  
 四半期報告書提出予定日 平成25年9月10日  
 決算補足説明資料作成の有無: 無  
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年1月期第2四半期の連結業績 (平成25年2月1日～平成25年7月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第2四半期	3,066	21.9	236	△6.7	237	△23.0	114	△30.5
25年1月期第2四半期	2,514	11.1	253	9.5	308	37.8	165	59.3

(注) 包括利益 26年1月期第2四半期 96百万円 (△40.9%) 25年1月期第2四半期 163百万円 (56.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第2四半期	55.13	51.86
25年1月期第2四半期	79.85	74.55

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第2四半期	2,857	1,007	35.3
25年1月期	2,515	911	36.2

(参考) 自己資本 26年1月期第2四半期 1,007百万円 25年1月期 911百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年1月期	-	0.00	-	-	-
26年1月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成26年1月期の連結業績予想 (平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,202	20.7	564	47.8	558	23.2	312	32.5	149.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年1月期2Q	2,084,400株	25年1月期	2,082,600株
26年1月期2Q	120株	25年1月期	76株
26年1月期2Q	2,083,287株	25年1月期2Q	2,070,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和による景気回復の期待感から、円安・株高傾向に推移し、輸出企業を中心とした企業の業績改善が一部で見られるものの、新興国経済の成長鈍化や長引く欧州債務危機等による海外景気の下振れが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する家具・インテリア業界におきましても、景気回復の期待感から消費マインドは回復傾向にあるものの、消費者の低価格志向に加え、急激な円安による輸入価格の高騰等、経営環境は予断を許さない状況が続いております。

このような経済環境のもとで、当社グループは「肩の力を抜いた自分らしい暮らしの提案」というコンセプトのもとに事業を展開し、当社グループの中核事業にあたるunico事業においては、商品の企画開発、販売力の強化、店舗の拡充に取り組みました。また、food事業は、unicoが提案する世界観やライフスタイルを補完する事業と位置付けております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,066,926千円（前年同四半期比21.9%増）、営業利益236,812千円（同6.7%減）、経常利益237,954千円（同23.0%減）、四半期純利益114,843千円（同30.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①unico事業

unico事業における主たる売上である家具におきましては、フィリピンの当社グループ工場で生産しているオーク材を使用した北欧ヴィンテージテイストのシリーズであるSIGNEのダイニングセットや、同シリーズの新商品として投入した、デスクとしても使用可能なドレッサーとスツールのセット、また新たなシリーズとして投入した、楽しく「FUN」、食べる「EAT」という意味合いを込めたFUN-EATのクリーニングができるカバーリングタイプのベンチソファなどのダイニングセットがお客様のニーズと合致し、ご好評をいただきました。これらにより同商品の売上高は、前年同四半期比約17%増となり堅調に推移いたしました。

一方で、フィリピンの当社グループ工場を生産能力向上及び原価率抑制を目的として税制優遇が受けられる経済特区へ移転したことによる移転・営業許可取得に伴う生産・出荷の一時休止や移転コストの負担により一時的に原価率が上昇しました。

カーテンにおきましては、当社デザイナーによるオリジナル企画アイテムが引き続きご好評をいただいていることに加え、お客様のニーズに応えた商品を強化し実施したカーテンフェアにより、同商品の売上高は、前年同四半期比約114%増となり好調に推移いたしました。

販売費及び一般管理費は、店舗拡充による人件費及び地代家賃等の負担増加や、平成25年2月に導入した「unicoハウスカード」の導入費用、店舗及び本部における組織体制強化のためのコンサルティング費用等の影響により、前年同四半期連結累計期間を上回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,000,354千円（前年同四半期比22.6%増）、セグメント利益は239,098千円（同7.0%減）となりました。

#### ②food事業

BISTRO KHAMSAでは、季節感やお客様のニーズに合わせた新商品の開発により、リピーター顧客の増加へと繋がりました。Le Bistroでは、特に、口コミによる広がりから新規顧客が増えるなど、継続して高いご支持をいただきました。bistro oeuf oeufでは、季節や気候に合わせた料理のご提供や看板等の販促物の見直しを行ったこと、及び充足した人員による店舗運営の安定化を図ったことで、継続した利益の獲得に繋がりました。これらにより、各店とも業績は上向いているものの、平成25年2月に実施した人事異動・店舗リニューアルの負担を賄いきることができませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は66,571千円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント損失は2,286千円（前年同四半期は3,182千円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,857,399千円となり、前連結会計年度末に比べ342,306千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加225,416千円、及び売上高の増加に伴う売上債権の増加94,785千円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、1,849,917千円となり、前連結会計年度末に比べ245,981千円増加しました。これは主に、仕入高の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加63,064千円、及び借入金の増加164,917千円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,007,482千円となり、前連結会計年度末に比べ96,325千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加114,843千円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年3月14日の「平成25年1月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、フィリピンの当社グループ工場が経済特区へ移転したことによる移転コストの負担が平成26年第1四半期連結累計期間に発生しましたが、平成26年1月期中の本格稼働に向けて体制を整え、生産能力及び生産稼働率を向上させることにより、原価率を抑制させ利益率の向上を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	372,796	598,213
売掛金	244,191	338,977
商品及び製品	747,755	730,766
仕掛品	8,999	12,684
原材料及び貯蔵品	48,502	65,526
繰延税金資産	23,066	23,066
その他	102,052	76,218
貸倒引当金	△878	△1,219
流動資産合計	1,546,487	1,844,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	421,740	433,745
その他(純額)	96,385	100,130
有形固定資産合計	518,125	533,876
無形固定資産		
投資その他の資産	53,099	59,695
繰延税金資産	63,861	63,861
敷金及び保証金	325,823	347,085
その他	7,694	8,646
投資その他の資産合計	397,380	419,594
固定資産合計	968,605	1,013,166
資産合計	2,515,092	2,857,399
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	157,048	220,113
短期借入金	240,376	189,579
1年内返済予定の長期借入金	262,968	309,614
未払法人税等	146,857	128,895
賞与引当金	26,511	55,621
その他	424,768	434,426
流動負債合計	1,258,530	1,338,249
固定負債		
長期借入金	294,526	463,595
退職給付引当金	6,984	7,503
資産除去債務	29,500	29,609
その他	14,394	10,959
固定負債合計	345,405	511,667
負債合計	1,603,936	1,849,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	206,215	206,256
資本剰余金	186,215	186,256
利益剰余金	513,584	628,427
自己株式	△93	△155
株主資本合計	905,921	1,020,783
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,235	△13,301
その他の包括利益累計額合計	5,235	△13,301
純資産合計	911,156	1,007,482
負債純資産合計	2,515,092	2,857,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
売上高	2,514,921	3,066,926
売上原価	1,001,525	1,268,633
売上総利益	1,513,395	1,798,293
販売費及び一般管理費	1,259,473	1,561,480
営業利益	253,922	236,812
営業外収益		
受取利息及び配当金	33	61
為替差益	—	5,516
デリバティブ評価益	3,520	—
保険解約返戻金	52,603	—
その他	6,257	2,362
営業外収益合計	62,416	7,941
営業外費用		
支払利息	4,727	4,811
為替差損	1,666	—
その他	976	1,987
営業外費用合計	7,369	6,799
経常利益	308,969	237,954
特別損失		
減損損失	1,118	—
特別損失合計	1,118	—
税金等調整前四半期純利益	307,851	237,954
法人税等	142,561	123,111
少数株主損益調整前四半期純利益	165,290	114,843
四半期純利益	165,290	114,843



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	165,290	114,843
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,231	△18,536
その他の包括利益合計	△2,231	△18,536
四半期包括利益	163,058	96,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,058	96,306
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。